

【学校教育目標】
気づく 考える 行動する 一歩上のわたしを目指して

【本年度の重点目標】
よりよい社会を形成する生き方を創る児童の育成 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。(4段階評価で3以上)」

領域	項目	自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた改善策	
知識・技能		◎基礎学力の確かな定着【指標】全国学力・学習状況調査(6年)福岡県学力調査(5年)福岡県学力調査(4年)標準学力調査(全学年:12月末実施) <b>結果</b> 全国学力・学習状況調査:国語94 算数94 福岡県学力調査:国語48.2 算数48.8 チャレンジテスト:国語54.1 算数50.0 標準学力調査:国語44.3 算数47.3 (資料1) ・学力向上プランの取組(振り返り・書く・話し合う活動)の徹底を図った。 ・TTや習熟度別分割など、個に応じた支援を行う体制を整えた。 ・チャレンジタイムを活用して複数体制で補充学習を行った。	2.8	○各種学力調査については、標準学力調査の結果より、全校的に嘉麻市の平均に近づいており、今後の取組に期待したい。 ○学力が少し低下してきている。特に4年生が低くなっている。 ○単元終末段階で習熟度別分割授業を行う等複数体制は、授業中にされるのか、又は放課後にされるのか。 ○先生方の努力されているところがよく分かる。 ○少しずつ、嘉麻市の平均点数と同等かそれ以上になるよう、一歩一歩励んでほしい。	○来年度もチャレンジタイムを活用し、複数教員による指導体制での補充学習や徹底反復計算等を行い、基礎学力の定着を目指す。 ○基礎学力定着(特に4年生)のために、算数科を中心に少人数指導など個に応じた細やかな指導や支援を継続する。 ○単元終末段階で行うプレテストをもとに、習熟度別分割授業を授業中に実施し、確実な学習内容の定着を図る。
		◎家庭学習(宿題+自学+準備)の習慣化【指標】10分×学年+10分以上への到達児童80% <b>結果</b> 家庭学習時間目標達成率85%:宿題提出率99% (資料2) ・各学期に家庭学習強化週間を設定し、学習意欲の高揚を図った。 ・学年に応じた自学内容例「自学メニュー」を配布し、一人ひとり達成目標ページ数を設定したり、全学年自学ノートの展示を行ったりして、児童の意欲高揚を図った。	3.3	○宿題提出率が、2月にはほぼ100%になっていて、素晴らしいと思う。達成できていない子の情報共有を中学校として丁寧に行っていきたい。	○今後も、家庭学習の習慣化を図ることができるように児童を称賛し、意欲の高揚を図る。 ○再度、学年に応じた「自学メニュー」をもとに、自学の内容面でのレベルアップを目指す指導を行う。
		◎学びの構え・土台づくり(学習規律の確立)【指標】学習アンケート⑤⑥ 3.2以上 <b>結果</b> 児童学習アンケート⑤3.56⑥3.71 (資料3) ・「学びのかまえ(物構え・身構え・心構え)」を全学級の前面に掲示意識付けを行い、授業前の確認、授業後の振り返りを行うなどして意識の継続を図った。 ・各学期末に、児童の学習アンケートを実施した。	2.6	○「学習アンケート」からは、子どもの評価が上がってきているが、それと学校自己評価は下がっている、その関連について理由が分かればお聞きしたい。 ○学習規律に力を入れることが第一と考えます。	○「学習アンケート」の中で児童は、特に⑥「振り返りを書くことができていく」ことに高く評価しているが、学校としては振り返りの内容の質を高めていきたいと考えているため、児童と学校自己評価のズレが生じたものと考える。 ○今後も、基礎学力の定着のために、1時間1時間「めあて」と「振り返り」のある授業づくりに取り組む。また、学習規律の育成を図るために「学びの構え」の指導の徹底を図る。
	総合所見	・児童の基礎学力の定着に向けた多くのご意見をいただき、改善策に反映させることができた。 ・家庭学習や自主学習については、なかなか取り組むことができていなかったが、現在は習慣化が図れているというご意見をいただき、取組の成果を確認することができた。今後は「自学メニュー」をもとに、質の向上を図っていききたい。 ・意欲をもって、主体的に学習に取り組む児童が増えてきている。今後も、学習規律の徹底を図り、児童の学習意欲を高めていくとともに、振り返り内容の質の向上を図っていききたい。			
学 力 向 上		◎規範意識の醸成【指標】児童の自己評価において「できた」の回答90% <b>結果</b> あいさつ:自分から進んで、元気にいつでもあいさつができた 65% (資料4) ・学期末にあいさつカードを記入し、自分の挨拶を振り返る活動を行った。 ・日々、あいさつの奨励を行った。	2.4	○あいさつに対する自己評価が低いように感じた。日常的にどう評価していくが必要だと思う。 ○ここ何年間か挨拶がほとんど自分からはなく、声が小さく聞き取れない。また、高学年、特に6年生の手本となる挨拶も少なくリーダーの統率力にもかけている。 ○挨拶は、取組結果どおりや低調であったと思う。もっと元気に大きな声で挨拶を心がけてほしい。 ○挨拶はよくできていると思います。今後益々、この状態が持続していくことを地域の一住民として願っています。何事も「挨拶」第一で。 ○「誰もができるはず」心が和む言葉です。 ○登校時の歩行がきちんとできていない。	○来年度は特に、児童会活動を中心に「あいさつ強化月間 4月・8月・1月(あいさつ運動)」の取組を、再構築していく。 ○道徳科を通して、あいさつをする価値やすばらしさを育成していく。 ○毎学期当初に行う登校グループ会においても、再度、安全な登校の仕方やあいさつをすることの意義や大切さの指導を行う。
		◎不登校ゼロの堅持【指標】不登校児童0人 <b>結果</b> 不登校児童0人 ・「福岡アクション3」に則り、不登校を生み出さない基本対応の徹底を図ったとともに、欠席児童への連絡を必ず行った。	3.4	○不登校については、小学校の取組をしっかりと受け継いで未然防止につなげていきたい。	○嘉穂中学校には、小学校での取組や児童の様子をしっかりと伝えていき、不登校を生み出さないように連携を図る。
		◎いじめの未然防止・早期発見・早期対応の徹底【指標】年間発見件数10件未満 <b>結果</b> 発生件数3件 ・児童は毎月、保護者は各学期にいじめアンケートを行い、いじめの未然防止・早期発見に努めた。	2.8	○いじめは、大変不安で心配重要なこと。絶無を期すこと。	○いじめの早期発見・早期対応のために、いじめアンケート後には個人面談を行い、学級全員の子ども達の思いを聞きとり、いじめの解決に向け、迅速で適切な対応を行う。
	◎言葉を大切に作る児童の育成【指標】生活アンケート実施(毎月)100% <b>結果</b> 生活アンケート実施(毎月)100% ・毎月「生活アンケート」を実施し、言葉を大切に作る指導や「呼び捨てをしない」指導を行った。	2.6	○生徒間のトラブルについて、小学校時代のことも中学校に入って出てくることもあるので、この部分もしっかり引き継ぎをしていきたい。	○小中連絡会を通して嘉穂中学校と児童生徒の様子を共有していく。	
総合所見	・あいさつは来年度の課題である。児童会活動を中心に「自分から進んで、元気にいつでもあいさつ」できるように学校全体で取組を進めていく。 ・本校の不登校0が堅持できているのは、集団登校も一つの要因であると考えられる。しかし、保護者の車による送迎が増えてきているので、集団登下校の意義をPTAと連携して保護者に伝え、協力を呼び掛けていく。 ・いじめについては、未然防止・早期発見・早期対応をしていくために、アンケートだけに頼るのではなく、日頃から児童とのコミュニケーションを十分にとり、小さな変化も見逃さないように努めていく。 ・言葉を大切に作る意識が低下している。「ふわふわ言葉強化月間」などを設定し、相手がうれしくなる言葉遣いへの意識を高めていく。				
学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 力 等		◎早寝・早起き・朝ごはん・メディア・お手伝い運動の推進【指標】達成児童90% <b>結果</b> 達成率 早寝85%・早起き93%・朝ごはん98%・メディアの約束87%・お手伝い87% (資料5) ・早寝・早起き・朝ごはんカードを活用し、学期ごとに取組週間を設定してPTAと連携しながら取組を実施した。 ・講師を招聘し、学年ごとにメディアの危険性について学習した。	2.8	○是非、「早寝・早起き・朝ごはん」を牛隈のモットーにしてほしいです。 ○「早寝・早起き・朝ごはんカード」の取組については、早寝のところが少し気になるが、全体的にはできていると感じた。	○来年度も引き続き、PTAと連携し、「早寝・早起き・朝ごはん」の取組や保健だよりによる啓発を行う。
		◎体力アップシートの達成・コーディネーショントレーニングの実施【指標】到達児童90% 実施学年 100% <b>結果</b> 体力アップシートの達成 1学期100% 2学期100% コーディネーショントレーニング100% ・コーディネーショントレーニングを教育課程に位置付け、すべての学年で実施できるようにした。 ・全学年で体力アップシートを活用している。	2.8	○体力アップ達成が100%になっているので、継続した取組を行って欲しい。	○体力アップシートを活用し、天気の良い日は外遊びをするよう日常的に声かけをしていく。新型コロナウイルス感染拡大防止に留意しながら、雨の日も、昼休みは学年割で体育館を開放し、運動できる環境を提供していく。
	総合所見	・「早寝・早起き・朝ごはん」を実行できている児童は増えてきているが、メディアの長時間使用で基本的な生活習慣が崩れてきている児童がいる。メディアの危険性について、保護者も参加できる研修会を改善策に盛り込み、来年度実施していくようにする。 ・来年度も「体力アップシート」をもとに体力の増進を図っていく。			
地 域 ・ 家 庭 と の 連 携		◎保護者・地域への情報発信の充実【指標】学校便りの毎月発行 学級通信の発行 HPの更新 <b>結果</b> 学校便り100%発行 学級通信100%発行 HP更新100%(月平均4回更新) ・毎月の学校だよりで教育活動や児童の様子を発信している。 ・細やかにHPを更新することで、閲覧者数が増加している。	3.4	○学校通信をはじめとして、素晴らしい学級通信。親も喜んで読んでいます。来年度もよろしくお願いします。時折、学校通信だけでなく、学級通信も入れていただくとうれしい姿が見えます。各学年、1年に一度でいいです。 ○学校通信やHPを通して、情報発信がきちんとできていると思う。 ○牛隈は回覧板が回っているため、学校の事が分かる。今後も続けてほしい。 ○学校だよりは、いろいろな活動や児童の様子が分かりやすく紹介されており、学校の「今」が見えて参考になる。	○学校通信や学級通信をもとに、継続して家庭や地域に学校の教育活動や児童の様子について情報発信しながら、家庭や地域との連携・協力を推進していく。 ○来年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防策をとりながら地域の方々との活動(芋苗植え・芋ほり等)を実施していきたい。 ○HPによる情報発信をさらに充実させる。
		◎教育活動の改善に向けた保護者や地域へのアンケートの実施 <b>結果</b> 学習参観・運動会・学習発表会の中止 ・学習参観(2・3学期)、運動会、学習発表会が中止となったので、個人懇談会を2学期末に実施し、保護者の思いや願いを受け止め、連携を図った。	3.0	○今年度はコロナの一件で児童とのつながりがなく、残念に思います。 ○コロナが落ち着き、保護者に子どもの様子を見てもらう機会ができたらいいいですね。	○来年度も、新型コロナウイルス感染症の感染予防策をとりながら学習参観、運動会、家庭訪問を実施していきたい。
	総合所見	・来年度も引き続き、学校の教育活動や児童の様子を学校だよりやHPで発信していき、学校教育への理解と協力をお願いしていきたい。 ・本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの学校行事が中止となり、学校関係者評価委員の方々や保護者の方から直接ご意見をいただく機会が減ってしまった。来年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防策をとりながら、できる限り行事を再開し、連携を深めていきたい。			